

行／事／予／定

- 6月 7日(日) 第63回大歳地区分館対抗ソフトボール大会【楓野川運動公園】
 - 6月21日(日) 第43回大歳地区卓球大会【大歳小体育館】
 - 7月18日(土) おおとし防災の日関連イベント【大歳地域交流センター】
- ※行事は延期または中止になる場合があります。

おおとしあわせ

Information

赤帽山口県が大歳駅にベンチを寄贈

レノファ山口の応援駅である大歳駅に、赤帽山口県軽自動車運送協同組合がベンチを寄贈しました。3月27日の御披露目式では、レノファカラーのオレンジに塗られ応援メッセージが書かれたベンチが、赤帽山口県の松尾理事長からレノファ山口の河村社長、交流列車おおとしの管理者である大歳自治振興会の吉富会長に渡されました。今年はコロナウィルスの影響で試合が延期されていますが、今後のレノファ山口の活躍に期待しましょう。



～レノファ山口 河村孝社長からのメッセージ～

赤帽山口県軽自動車運送協同組合様、この度はレノファ山口の応援駅である「大歳駅」に、サポーターの心を躍らせるベンチのご寄贈を賜り、誠にありがとうございます。

「大歳駅」は当クラブの応援に駆けつけて下さる皆様の玄関口であります。ベンチを通して当クラブに関する話題が増え、また、地域の皆様の憩いの場となりますことを大変うれしく思います。

今後も、地域の皆様のご期待に応えられますよう、一層努力してまいります。

この度は誠にありがとうございました。



歴史看板(岩富・黒川市)完成

大歳史談会が制作した歴史看板の第2弾「石州街道と大歳(岩富・黒川市地区)」が、岩富と坂東の間にかかる供有橋の岩富側たもとに完成しました。散歩がてら歩いて、地域の魅力を再発見してください。



広報委員募集中

いっしょに「かわら版おおとし」をつくりませんか? facebookに詳しい方、助けてください。

興味のある方は遠慮なく、大歳自治振興会(083-920-1700)までお問い合わせください。

編集後記

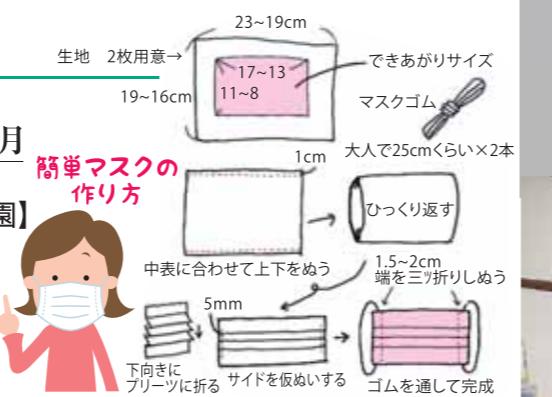


世界中が新型コロナウィルスの感染で大変なことになりました。あれも中止、これも中止、そして自分も感染するかもしれないという不安……自宅にとどまり静かな生活を送っています。このかわら版が配布される頃には収束してほしいなあ。(池末)



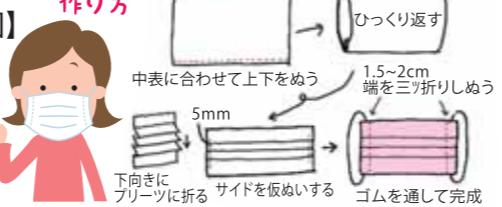
がら熱心に調査をすすめられ、「全国的にも大変貴重な習俗で、今日は学ぶところがとても多かった」と感謝の言葉をいただきました。

日参様：集落の中を、家から家へと回っていく小さな祠に納まった神様



6~7月

簡単マスクの作り方



まちづくりかわら版

おおとし

2020.5
Vol.63

本気でこどもに寄り添うNPOに

こどもの日
特集

子どもの貧困と向き合い、学習支援、子どもの居場所づくり、こども食堂など
多様な取り組みをすすめる「こども明日花プロジェクト」の活動

子どもは地域の明日の花

「子どもたちに楽しい思い出をつくってあげることが、地域の明日を拓く力になるとの思いを込めて、明日花プロジェクトは活動している」と代表の児玉頼幸さんは語ります。

日本では、子どもの貧困が年を追うごとに深刻になってきて、今や子ども7人に1人(全国で260万人)が経済的貧困状態にあるといわれています。子どもの貧困は「子ども個人ではなく、私たち社会、地域全体の問題」と考えて、取り組むことが大切になってきています。

明日花プロジェクトは、大歳の富田原に本部を置いて、ひとり親家庭の子どもの居場所づくり、5か所で学習支援活動(毎週土曜)、3か所でこども食堂(月1回)を開催しています。山大や県立大的学生たちが学習支援活動に参加してくれています。この若い力がきっと未来をより明るく豊かなものにしてくれると期待していくと思っています。

今、一番力を入れているのがこども食堂です。こども食堂は子どもの貧困対策ととらえがちですが、

実は親の働き方の多様化によって、家族そろって食事をすることができない家庭が増えたことに対し、地域が子どもを「孤食」から救おうという、子どもたちを支える活動です。吉敷のこども食堂のように地域づくり協議会を中心とした取り組みになると三世代交流にもなり地域づくりの新しいスタイルを生み出しているそうです。



できることをできる時間に楽しくやろう

NPOへの参加のスタイルは多様です。一番簡単なのは募金やフードバンクへの協力です。食材の提供も大歓迎です。食事作りや子どもたちとの交流、自動車での送り迎えなど、できることをできる時間に楽しくやることがNPO活動参加の秘訣だそうです。

そして何よりも重要なのは様々なサークルなどのタイアップが広がることです。そういう呼びかけがあれば喜んで参りますし、一緒に新しい取り組みを始めたいとスタッフの皆さんは声を挿いました。(お問い合わせは、070-7562-1187まで)

大歳地区の水害対策施設がととのいました

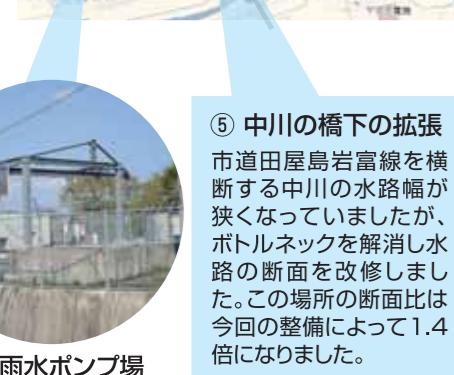
山口市の下水道整備課によって進められていた一連の大歳地区の浸水対策施設の整備がこのたび完成しました。他地区でも浸水対策施設の整備により一定の効果が確認されており、既存の施設と合わせ大歳地区でもより一層の浸水被害の軽減が期待できます。

① 矢原堰取水ゲート改修 ② 千代丸堰取水ゲート改修

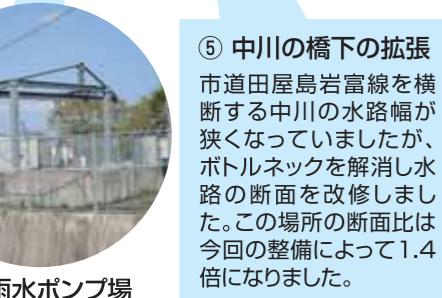
取水ゲートが改修・電動化されました。監視カメラで河川の水位状況を確認し緊急時は遠隔操作で取水ゲートを閉めることができ、豪雨の際に榎野川、吉敷川からの不要な雨水の流入を遮断できます。



② 千代丸堰取水ゲート改修

⑤ 中川の橋下の拡張
市道田屋島岩富線を横断する中川の水路幅が狭くなっていましたが、ボトルネックを解消し水路の断面を改修しました。この場所の断面比は今回の整備によって1.4倍になりました。

① 矢原堰取水ゲート改修



三作雨水ポンプ場

近年の災害は想定外のものが多くなってきています。これらの施設の効果を過信せず、情報収集と早めの避難を心掛けましょう。

新コーナー 大歳の気になるお店 Vol.5



ソーイングスポット
OriOri
おりおり

今回は、「ソーイングスポットOriOri」です。たねくぼ整形外科の近くの交差点で信号待ちの時、何の店かしらと気になっていました。

オーナーの児玉さんは、“50歳を前に自分の趣味の裁縫を活かした仕事をやってみたい”と3年前、山口県女性創業セミナーWITTYを受講されました。そして、“温めてきた想いや夢を形にする”ことの実現に繋がったのがこのOriOriです。

昔は、嫁入り道具のひとつにもなったミシンですが、今は備えていない家庭も増えてきました。しかし、子どものおけいこバッグや簡単服など自分で作ってみたい、ズボンの裾上げをしたい…という時に便利なのがこの店。

ミシンとロックミシンを30分単位500円で利用できます(子どもの利用も可 小学生以下は保護者同伴)。1年分の雑巾を縫って喜んで帰られた方もいたとか。また、店内にある型紙を使った洋服を、児玉さんの的確なアドバイスを受けながら仕上げることもできます。

店内には、作業台を中心に様々な裁縫道具や小物、見本の完成品、布などがきちんと整理して置かれていました。ソーイングに興味のある人は、見ているだけでも楽しめる空間です。



思いのままに



カラフルなマスクも縫えます



色鮮やかな糸が店内を飾る



店主の児玉香織さん



自治会レポート 坂東自治会編

各自治会にスポットをあて、地域の様子や日頃の悩み等を自治会長さんに伺います。

今回は坂東の自治会長、末永裕二さんです。現在の会員数は、アパート(警察アパート含む)や賛助会員など合わせて120世帯で、班は5班です。役員は会長、会計、女性部、分会長(防災・監査兼務)、体育委員(交通安全・監査兼務)、朝田神社の総代と奉賛会、そして各班の運営委員を含め12人で、その内女性は5人です。任期は会長、会計が2年でそれ以外は1年です。(但し、朝田神社総代と奉賛会は除く)。自治会の範囲は、概ね、東と西隣は市道で北はJR山口線、南は吉敷川(一部は吉敷川の南)までです。総会は1月と3月の年2回しています(今年は3月の総会は中止)。主な活動は、体育祭や敬老祝賀会の参加(昨年度45名)、そして、公園中心の吉敷川の土手回り掃除で、一斉掃除を含んで、年2～3回しています。また、自治会で、夏休み期間中、朝のラジオ体操をしています。土日、盆休みを除いて毎日で、大人、子ども含め20～25名の参加者があります。そして、今の自治会の課題は、ごみの分別問題で、自治会全体でとり組んでいます。

坂東自治会長
末永裕二さん